

講義動画を撮影及び作成に関する事項について

講義動画を撮影及び作成する際は、以下の事項を確認の上実施すること。

○動画撮影（仕上がり）について

講義動画については、講師の意向も踏まえて動画の撮影方法を決定し、撮影すること。

なお、資料と音声のみの動画でも構わないが、極力講師の映像と資料が一体になった動画作成に努めること。

○講義動画の仕様等について

アスペクト比 16:9

ファイル形式 MP4

動画のサイズ 852px × 480px ～ 1280px × 720px

ファイル容量 1GB 未満

○動画の再生時間

1 講義あたり 90 分の講義に相当する内容を作成すること。

また、動画再生時間は 1 本の動画ファイルあたり 20 ～ 30 分程度とすること。極力 1 本あたりの動画再生時間が 30 分を超えないよう配慮すること。

※動画を短くする利点

- ・ 講義で間違いがあった場合や改めて取り直す際の負担軽減が図れる。
- ・ データ移行やアップロード時のトラブル発生頻度を抑えられる確率が高まる。

○撮影時の音声について

PC 本体に内蔵されているマイクは明瞭に音声を録音できない場合があるため、外付けのマイク等を活用すること。

○撮影環境について

- ・ 動画を作成する際は、講師・撮影者共に携帯電話の音をオフにして撮影すること。
- ・ 撮影時に放送音（アナウンスなど）が入らないよう配慮すること。
- ・ その他、ノイズが発生する機材等がある場合は、可能な限り電源をオフにして撮影すること。

疑義等生じる場合は、環境調査研修所教務課に相談の上、対応すること。